

2/23 復旧ルート大きく前進

二重峠トンネル貫通で記念式典開催



万歳三唱で貫通を祝う国や周辺自治体の関係者たち

国道57号北側復旧ルートの一部として国土交通省が建設している全長約3.7キロの「二重峠トンネル」が貫通し、国や自治体の関係者ら約250人が貫通を祝いました。

二重峠トンネルは平成29年6月から阿蘇市側と大津町側の双方から工事が進められ、24時間体制での掘削や山の内側からも掘り進める特殊な工法を採用したことで1年8ヶ月という異例の速さでの貫通となりました。

国道57号北側復旧ルートは2020年度中の開通を目指し、今後も工事が進められます。

2/21 拝殿に演習林の木材を

阿蘇中央高校が阿蘇神社再建に木材を寄附



安全祈願祭で樹齢90年のヒノキを伐採する森林組合職員

熊本地震で被災した阿蘇神社拝殿の再建に使用する木材の一部を阿蘇中央高校(富下春海校長)が提供することが決まり、同校の小柏演習林で木材伐採の安全祈願祭が行われました。

阿蘇神社は県の協力で拝殿再建用の地域産木材を探していたところ、阿蘇中央高校から木材提供の申し出がありました。同校の演習林は120年の歴史があり、今回、樹齢90年のヒノキ50本が提供されます。

阿蘇治隆宮司は「永年手塩にかけて育てられた木。大切にしたい」と感謝を述べました。

2/27 水の駅の活動を評価

門前町商店街が地域再生大賞で優秀賞



受賞を報告した杉本理事長(左)と振興協会のメンバー

地域づくりに取り組むの団体にエールを送る「第9回地域再生大賞(地方紙46社・共同通信主催)」で優秀賞を受賞した阿蘇門前町商店街振興協会(杉本真也理事長)が佐藤市長に受賞を報告しました。

阿蘇門前町商店街振興協会は、外国人客にも対応する観光案内所として平成29年12月に「水の駅阿蘇門前」を開設し、地元特産品や野菜の販売、阿蘇神社の復興状況や阿蘇の魅力発信してきました。同協会の地域活性化の取り組みが評価され今回の受賞となりました。

2/24 地震から3年ぶりの野焼き

西町・東役犬原・小堀牧野で野焼き再開



3年ぶりに火を入れた牧野の様子

阿蘇山麓一帯の野焼きが行われ、熊本地震以来野焼きを休止していた西町・東役犬原牧野と小堀牧野の一部で3年ぶりに火入れが行われました。

往生岳の東側から仙酔峡にわたる3つの牧野では、地震による牧道の破損で、昨年まで野焼きを実施できませんでした。今回、牧道の復旧が完了したことから、これまで休止されていた230haの牧野で野焼きが再開されました。伸びぎった草に火を放つと草原は勢いのある炎に包まれ、久しぶりに山肌が黒く染まりました。



3/6

茶道を通じて礼儀を学ぶ

のだて
りんどう保育園でお別れ野点



見事な作法でお茶を点てる年長児

卒園する年長児が年中児にお茶を点てる「お別れ野点」が、りんどう保育園(小代広施園長)で開かれ、園児や保護者ににぎわいました。

りんどう保育園では、感謝や人を敬う心を育てるため、年長児が週に1度茶道を稽古しています。1年間の集大成として開かれた保護者参観では、年長児16人が自らお茶を点て、年中児22人と訪れた保護者にふるまいました。年中児や保護者らは、年長児から礼儀作法を教わりながら美味しくお茶とお菓子をいただきました。

3/1

小4が防火を呼びかけ

阿蘇広域消防が火災予防ポスター表彰



(左から)金賞を受賞した一の宮小5年の榎木野めいさん、城奏音さん、小代葵さん、佐伯実千留さん

全国春の火災予防運動(3月1日~7日)に合わせて阿蘇広域行政事務組合消防本部(住吉昭則消防長)が火災予防ポスターを募集し、入賞した90名を表彰しました。

阿蘇郡市の小学4年生を対象にした防火思想の普及・啓発を図るための取り組みで、阿蘇市内の入賞者は、金賞4人、銀賞10人、銅賞11人、努力賞14人。全体で17校409点の応募がありました。

入賞した作品は道の駅阿蘇に展示されたほか、金賞作品は消防本部に1年間展示されます。

3/8

ありがとう尾ヶ石校舎

阿蘇西小学校舎移転で「ありがとうの会」



お世話になった感謝の気持ちを伝える児童の代表

阿蘇西小学校の児童138人が新校舎への移転を前に校舎と地域の人に感謝を伝える「ありがとうの会」が開かれました。

阿蘇西小は、平成28年4月に尾ヶ石東部小と先行統合した直後に熊本地震で校舎などが大きな被害を受けたため、尾ヶ石東部小校舎を使用してきました。

会では、これまでお世話になった狩尾地区の皆さんを前に感謝の気持ちを伝え、2年10カ月を過ごした校舎での思い出を振り返りました。

新学期からは的の石の新しい校舎で学校生活がスタートします。

3/8

生涯スポーツ振興に尽力

グラウンド・ゴルフで12人を優良者表彰



市の交歓大会で行われた表彰式に出席した6人。

永年にわたる地域生涯スポーツの振興に尽力したとして、熊本県グラウンド・ゴルフ協会(井上矩康会長)から阿蘇市の12人が表彰され、市グラウンド・ゴルフ協会の嶋村征司会長が表彰状を伝達しました。

受賞者は次のとおり(敬称略)。
 坂梨文男(今町)・小野祐雄(小野田町)・樋口忠義(内牧1区)・江藤晃(古城1区)・丸山武重(小園)・中園ツヤ子(蔵原)・江藤正子(北黒川)・井一男(元黒川)・下条シマエ(北2区)・宮崎弘昭(馬場)・江藤禹子(古城1区)・井野寿雄(古城6区)

3/10 砂防ダムで地域を守る

国による阿蘇山直轄砂防事業着手式開催



関係者と阿蘇少年少女合唱団によるくわ入れの様子

国による阿蘇山直轄砂防事業の着手式が阿蘇体育館で開かれ、関係者や地域住民ら約200名が出席しました。

阿蘇地域では、九州北部豪雨や熊本地震で100力所を超える土砂災害が発生し防災対策が求められていることから、国直轄による砂防事業の実施が決定しています。今後10年間にわたる阿蘇カルデラ内で25力所程の砂防ダム建設が予定され、3月には西湯浦地区と手野盤名木地区で砂防ダム工事に着手しました。

式ではくわ入れが行われ、参加者らは工事の安全を祈りました。

3/8 環境学習で防災林づくり

西小園の原野で尚綱学院が植樹活動



穴を掘って苗木を植林をしていく生徒たち

尚綱学院高等学校の一年生17人が環境学習で西小園にある原野にクヌギや山桜などの広葉樹200本を植林しました。

同校の中高一貫コースでは、8年前から環境と地下水の保全を目的に阿蘇市内に植林を行っています。2年前からは西小園にある22・5分の急傾地で山崩れを防ぐための防災林作りに取り組んでいます。

生徒たちは、地元の人たちに教わりながら千平方メートルの斜面に苗木を一本一本手植えしていきましました。8月には植えた樹木の下刈り体験も行われます。

3/14 県産木材を身近に感じて

市内の保育園に県産木材の積み木を寄贈



積み木を受け取った古城保育園の園児

木と親しみ木の良さを子どもたちに肌身で感じてもらうとうと、阿蘇森づくり協議会(阿南忠治会長)が県産木材でつくられた手作りの積み木を市内保育園に贈りました。

同協議会が毎年行っている取り組みで、こしは古城保育園、熊本YMCA永草保育園の2園に木箱に入ったさまざまな形の積み木をプレゼントしました。

積み木を受け取った古城保育園の園児24人は、木の香りがする積み木に触れ、笑顔で感謝の言葉を述べました。

3/11 多年のPTA活動に功績

竹本美穂さんがPTA全国協議会会長表彰



市長に受賞を報告した竹本さん(右)

多年にわたる教育進展に尽力したとして、11月21日に日本PTA全国協議会会長から表彰された竹本美穂さん(桜町)が佐藤市長に受賞を報告しました。

竹本さんは、平成25年から坂梨小学校のPTA役員として活動に参加し、阿蘇PTA連合会会長や県PTA連合会副会長を歴任。平成28年・29年には阿蘇PTA連合会による「熊本地震復興音楽祭」の開催に尽力するなど多くの活躍で県教育委員会からも表彰を受けています。

これら精力的な活動が評価され今回の受賞となりました。



3/17

火振り神事を支援

一の宮中の生徒がカヤ束づくりに挑戦



カヤ束づくりを教わる生徒

一の宮中学校の1・2年生25人が阿蘇神社火振り神事で使用するカヤ束づくりに挑戦しました。

阿蘇神社や観光関係者らで構成される「火振り神事体験交流実行委員会」（長尾章実行委員長）は、毎年火振り神事で使う1300のカヤ束を準備しており、4年前から一の宮中学校の生徒も協力しています。

カヤ束づくりに参加した生徒は「地元を代表するお祭りの役に立ててうれしい。火振りは体験したことがないので、ぜひ参加したい」と話しました。

3/15

あか牛料理で地域振興

阿蘇中央高校であか牛料理試食会



料理を提案した高校生たち

阿蘇中央高校農業食品科の2年生39人が考案したあか牛料理試食会が同校清峰校舎で開かれ、関係者約40人が招待されました。

あか牛の消費拡大による畜産業の活性化と草原保全を目的として開かれたこの取り組みは、これまで7年目を迎え、これまで地元の出産者らとの協力で12品が商品化されています。

生徒たちは、新たに考案したブルコギやボルシチなど11品を披露。「みんなで協力した考案した料理。一つでも多く商品化され、地域振興につながればうれしい」と話しました。

3/17

阿蘇山の魅力を広く紹介

阿蘇山上ビジターセンターオープン

海外の旅行者を誘致するために環境省が進める「国立公園満喫プロジェクト」の一環として、「阿蘇山上ビジターセンター」がオープンし、施設が入る阿蘇火山博物館でオープニング式典が開かれました。

阿蘇山上ビジターセンターでは、草千里・高岳・中岳の生き物や四季の楽しみ方、阿蘇地域の自然や文化、防災などを紹介。訪れた人たちが阿蘇をより一層楽しめるように設置されました。

施設は、年中無休で午前9時から午後5時まで無料で利用することができま



環境省事務次官ら来賓によるテープカットの様子

全国大会出場者と結果

●テコンドー 🏆

(3.3 / 兵庫県姫路市)

第2回全日本社会人テコンドー選手権大会

【マスターズ男子キョルギ(組手)の部 U-50(41歳～50歳)-54kg級 優勝】 西村 紀幸(古神3区)

●日本拳法

(3.30-31 / 大阪市)

第23回全国高等学校日本拳法選抜大会(男子個人・女子個人)

阿蘇中央高校

[2年] 山崎 嗣勇斗(阿蘇中出身) 上野 浩輝(阿蘇中出身) 市原 朱梨(波野中出身) [1年] 田中 京靖(阿蘇中出身)

(敬称略)